

地震の被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。

/// I N D E X ///

- ・ ISO 関連解説...前号の ISO 関連解説の補足と修正
- ・ LCA の実務 mini 12---- プロセスの物質収支の確認。
- ・ LCAF からお知らせ...今年度内の検定の予定です。
- ・ 編集後記..... 「七草」と「どんど焼き」

■ LCA 関連解説：前号の ISO 関連解説の補足と修正 ■

○前号の補足です。

ISO14068-1:2023 (カーボンニュートラリティ) について、「昨年 11 月の末に急に「-1」が
いて発行されました。「-2」や「-3」が続くことが想定されるので、2022 年に発行された IWA42
(ネットゼロ)との調整がなされると思います。」と書きましたが、規格の題名が変更されたこと
を書きませんでした。発行直前まで「ISO14068:2023 Greenhouse gas management and climate
change management and related activities — Carbon neutrality」という題名だったのですが、
発行された題名は、「ISO14068-1:2023 Climate change management —Transition to net zero
—Part 1:Carbon neutrality」です。つまり、どこにもなかった「Transition to net zero」が付い
たということです。

議論を重ねてきたワーキンググループのメンバーに何の連絡もなく題名を変えてしまうのはい
かがなものかと、個人的に少し怒っていたのですが、ドイツからこの SC7 に対してクレーム文書
が提出されました。全く同感です。

最近の気候変動に関する ISO の活動を振り返ると、2021 年 9 月の ISO ロンドン総会で世界 165
カ国を代表する ISO メンバーによってロンドン宣言「ISO の気候コミットメント」が承認されま
した。「今後、作成されるすべての新しい基準に主要な気候への配慮を組み込み、ネットゼロを達
成するための国際的な取り組みを推進していく」と宣言されました。この年に気候変動締約国会
議 (COP26) がグラスゴーで開催されています。

次の年 2022 年の COP27 (エジプト) の開催期間中に「IWA42:2022 ネットゼロガイドライン」
が発行されました。COP27 に間に合うように国際ワークショップの合意文書をまとめたと思われ
ます。続いて、昨年の COP28 (ドバイ) の時に、上述の ISO14068-1:2023 が発行されました。
ISO は気候変動締約国会議 (COP) に合わせて行動しているように思われます。

ISO14068-1 に続く「-2」、「-3」の議論がすぐに始まると思います。注意して見てゆきたいと思
います。

○前号の修正です。

前号で「ISO/DIS17072 (組織の LCA に関する要求事項及び指針)」と書きましたが。番号を
間違えました。「ISO/DIS14072」の間違いです。

■ LCA の実務 mini12：物質収支の確認方法 ■

実務としての LCA は、「フォアグラウンドデータ」を実測し、それに「バックグラウンドデータ」を
乗じて上流の環境負荷を算定します。つまり、「フォアグラウンドデータ」が正しく収集されている
ことが LCA 実施の基本です。

製造業の「フォアグラウンドデータ」は、多くの場合「生産プロセス」の入出力になります。そ
のデータの健全性をチェックする手段の一つが「物質収支」の確認です。つまり、プロセスに投
入した物質が全て出力になっているか確認します。

最も簡単なのが、金属加工などの入出力が全て固体であるプロセスです。ごみと製品の合計重
量が、投入した原料の重量と等しいことを確認します。自動車や家電などの組み立て産業の多く
はこれに属します。

化学産業のようにプロセス内で反応があるものでも、生成物が全て回収されているプロセスは
比較的はまだ簡単ですが、生成物の一部が大気に放出されていると物質収支の確認が困難にな
ります。SO_x や NO_x の濃度測定などから排出量を推定することになります。

最も難しいのが材料の燃焼に伴う CO2 の排出量の算定です。CO2 の濃度や排出量が測定されていることはまずないので、燃料の炭素含有量から CO2 排出量を推定することになります。つまり、物質収支が保たれていることを前提に CO2 排出量を推定します。プラスチック廃棄物などの化学物質や林産廃棄物など植物系の材料の燃焼による CO2 排出量の算定では、燃えている材料の炭素分析が必要になります。

プロセスの物質収支の重要性をもう一度確認してしてください。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

○中級研修の副読本を作りました。中級研修を受講してくださった方、及び中級検定の申し込まれた方限定で、インターネット上での公開を検討中です。

○今年度中の検定の予定です。

中級検定試験：2024年2月17日(土)

初級検定試験：2024年3月2日(土)

○[再掲です] 新しい参考図書「基礎から学ぶ LCA～LCA の実施と活用～」を発行しました。

以下からお申込みください。(3,000円+税+送料)です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

■■ 編集後記 ■■

お正月は7日に「七草なずな、唐土の鳥が、日本の土地に渡らぬうちに、とんとんとん」と、母が歌っていたのを思い出します。私が生まれた静岡の地歌と思っていたのですが、種子島の古民家施設でこの歌が流れていたのでびっくりしました。全国的な歌なのでしょうか？

14日は「どんど焼き」です。お正月飾りを集めて燃やします。書き初めに火を付け、お習字がうまくなるように祈り、三叉の木の先に付けて焼いたすすくさい餅を食べると病気になると言われました。「どンドン焼きは14つか、サルノケツは真っ赤つか」と歌いました。

年の暮れに餅つきをしました。9餅は縁起が悪いので28日か30日につきます。お正月の14日にどンドン焼きの餅をつきます。2月の節分にまたつきます。3月のひな祭りにつきます。なんだかんだで、お正月から3月の春先まで、毎朝雑煮を食べていました。子供の頃の田舎の話です。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、この「LCAF 通信」の配信停止のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7

アルテール池袋 608

電子メール：lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL：<https://lcaf.or.jp/>